

南足柄市立岡本中学校

研究テーマ：主体的に学習に取り組む態度の育成を図る授業の工夫・改善
～生徒・職員の学び合いを通して～

1 実践の目的

学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業改善を図ることが重要であるとされている。そこで、めざす学習者像を共有し、生徒と職員が学び合い、ともに質の高い授業の創造をめざすことで、生徒の主体的に学習に取り組む態度が育成され、「確かな学力」の向上に結び付くと考えた。さらに、市の研究テーマにもある通り、生徒が主体的に学習に取り組み、粘り強く学び続ける力を育成したいと考え、本研究テーマを設定した。

2 実践の内容

(1) 質の高い授業の創造

ア 主体的に学習に取り組む態度の育成

目的に応じた ICT 機器の活用、問いや課題の設定とふり返りの充実、対話的な学びの充実を図ることで、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成してきた。

イ 信頼性、妥当性の高い評価の実施

評価の研修を通して、信頼性、妥当性の高い評価について研鑽を積んできた。主体的に学習に取り組む態度の育成の評価については、生徒の変容を見取るものや、粘り強く課題解決に向かう姿勢を見取るものを資料として蓄積してきた。

(2) 生徒・職員の学び合い

ア 学び合い皆議の実践

昨年度に引き続き、毎月の職員会議後に「学び合い皆議」を設定し、授業実践の紹介や意見交換を行う取り組みを継続して

きた。

イ 研究協議・カンファレンスの実践

校内研究全体会において、生徒も交えた研究授業を実施し、生徒・職員で学び合うカンファレンスを行った。職員の視点だけでなく、生徒からの視点を参考に学び合うことで、さらなる授業改善につなげることができた。また、各研究授業・公開授業においては、各職員年1回を基本とし、その授業を指導主事、教育指導員に参観してもらうことで、学びの多い研究授業をめざした。

3 実践の成果と課題

(1) 質の高い授業の創造

○課題の設定と目的に応じた ICT 機器の活用をめざす授業の実施

(2学年 総合的な学習の時間「私たちのまちの防災を考えよう」)

事前に実施した「防災に関するアンケート」では、現在の日本の災害について関心をもつ生徒が多く見られたが、正しい防災知識が少なく、十分な防災への準備ができていないと回答する生徒が見られた。このアンケートをもとに、単元を「私たちの住むまちの防災について考えよう」と設定した。本時では、正しい知識を身につけ、生徒の生活圏内や校区内における防災意識、家庭や地域への所属意識を高める授業を実施した。目的に応じた ICT 機器の活用としてオクリンクプラスを使用し、市内地図の上に危険箇所や避難経路を予測した。生徒は地図上に危険箇所を示した上で、自分の経験や認

識をグループ内で共有し、防災マップを作成することができた。

本時の授業や単元のまとめを通じて、生徒は防災に関する知識をもとに自分の考えを主体的に表現することができた。特に、オクリンプラスは効率的に言語活動を進める一助となった。

（２）生徒・職員の学び合い

ア 学び合い皆議の実践

学び合い皆議の時間を有効活用するために、ICT 機器を活用しながら職員のニーズに合わせた学び合いを行い、自身の授業に還元できるように工夫した。特に今年度は、学習に関するアンケートや日々の学習活動における課題をテーマに各教科・各学年で解決をめざした学び合いを行った。

イ 学び合いカンファレンスの実践

昨年度に続き、他学年の生徒が研究授業を参観し、授業後に生徒、教師でのカンファレンスを行った。授業を受けた生徒は授業内で、どのように考え、表現したのかをふり返り、参観生徒は授業者の視点を持ちながら、授業をどのようによりよくしていくかを考え、カンファレンスの場で意見を共有することができた。特に前述の授業のカンファレンスでは、授業で使用した教材を、学校全体や地域の防災に生かすための工夫を提案する等、生徒の活発な発言が多く見られた。生徒からの授業改善に向けた意見は職員にとって多くの学びとなった。職員もカンファレンス後に生徒の記述や各グループのまとめを参考に、授業改善の方法や取り組みを活発に意見交換する様子が見られた。今後も生徒の意見を大切にしながら授業改善を続け、生徒・職員の学び合いを深めていきたい。

4 今後の展開

昨年度から継続して生徒・職員の学び合いの場を設定することで、生徒と職員がよりよい授業づくりをめざそうとする議論が活発となり、職員の授業力の向上、質の高い授業の創造につながった。これからも生徒と職員が学び合うことのできる場を設けていきたい。特にカンファレンスに参加する生徒が学びになる議論ができるように参観や話し合いの工夫を行っていきたい。

研究授業については総合的な学習の時間や学活だけでなく、各教科や重点項目ごとに授業を実践し、教科横断的な指導につながる取り組みを図っていきたい。

今年度7月に全校生徒を対象に実施した「学習に関するアンケート」では、「私は人の話を聞き、そのことについてまとめたり、意見を書いたりすることが得意である。」の項目において、全学年で4割程度の否定的な回答があった。生徒の課題解決に向けた主体性は高まったが、その内容を整理してワークシートや単元の記録シートにまとめることは苦手な傾向がみられる。今後も主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、生徒自身が主体的に学んだことを知識や技能と関連付けて思考し、表現する力を身につけさせていきたい。